



## 心理実習 オリエンテーション資料

### 1. 実習の概要

- (1) 基本情報： 80 時間以上で保健医療、福祉、教育、司法・犯罪、産業・労働の 5 分野(主要 5 分野)に関する施設において、見学等による実習を行う。
- (2) 実習期間：1人につき 6.5-7 時間の実習を行う。
- (3) 実習時間：9:30-16:00／9:30-17:30(休憩1時間)
- (4) 実習指導者：藤原朝洋(メイン)、吉田かける(サブ)／ フォロー係：高田莉恵

### 2. 社会福祉法人美樹和会での実習

#### (1) 実習施設の紹介

##### ① 中京みぎわ園 2016 年開園(京都市認可保育所)70 名定員

- ・0 歳児～1 歳児クラスまで育児担当保育を実施、「愛着関係の形成」と「人と関わる力の基礎」を子ども一人一人の発達段階に応じて、丁寧にかかわる。
- ・3 歳児～5 歳児クラスは異年齢保育を実施、同年齢の子ども同士の間だけでなく、異年齢の子どもとの関わりから子ども同士での成長を促していく。
- ・分園「ななほし」(2020 年開園)では 2 歳児クラスが乳児期～幼児期への移行に向けて、保育士のサポートを受けつつ、子ども同士の活動を増やしていく。

##### ② 朱雀みぎわ学童保育所 2021 年開所 220 名定員

- ・地域の自治会、消防分団と共同施設として運営。
- ・就労等で昼間、保護者が在宅していない小学 1 年生～6 年生を受け入れている。
- ・「児童厚生員」という遊びを支援する職員、児童厚生員とともに学童保育を展開する「クラス担当」、個別支援の必要な児童や他の児童をサポートする「介助ボランティア」といったメンバーで「遊びを通しての活動」を中心に子どもの健全育成を図っている。
- ・1F「読書・学習室」、2F「多目的室」、3F「プレイルーム」、屋上のほかに隣接する朱雀第一小学校の校庭で過ごしている。

#### (2) 1日の流れ(1日目～3日目までの保育園実習の場合)

時間	実習	ねらい
09:30-	1日のガイダンス 朝の園児受入時間を経験 ※初日はオリエンテーション	・1日の流れとその日の子どもを見る視点について説明。 ・午前中登園してくる保護者や子どもと元気にあいさつし、誰のために働くのかを実感するとともに、子どもの様子の観察の重要性を理解する。
10:00-	設定保育への参加	・保育士が子どもの発達に応じた遊びをどのように展開するのかを学ぶとともに、子どもとの関係づくりにおいて遊びこむことの重要性を学ぶ。 ・設定保育に参加しながら、子どもの様子について心理士の視点から子どもへの支援を学ぶ。
12:00-	園児たちと給食(飯)	・食事場面での子どもとのかかわり(楽しく喫食できるようにする、食が進まない子へのフォロー、子ども同士の関わり方などの観察、アレルギー対応等)。 ・午前中の子どものかかわりを振り返り、子どもに関する

		る「気づき」を言語化し、記録にまとめることを学ぶ。
13:00-	休憩	・Google フォームを使用したアンケートへの記入(休憩時間に実習生同士で実習について話し合う機会になれば幸い)
14:00-	前半振り返り	・多様な専門家がどのような視点をもって仕事に臨んでいるか、他職種と協働するため何を重視しているのかを学ぶ 実習生の「気になったこと」「気づいたこと」や興味・関心に回答  ※16:00 終了の場合はこの時間を長めに取ります。
15:30-	保育への参加	・幼児期～学童期への移行に伴う、心身の発達の成長を知っていく。 ・各学年に応じた言葉かけや普段からの見守りを学ぶ。 ・小学校と自宅の中間に位置する施設だからこそ可能な支援を学ぶ。
17:00-	1日の振り返り	・昼間に書いた「気づき」について振り返りを通して、深堀し、翌日の実習に活かしていく。 ・1日で学んだこと、疑問に感じたことを未消化のままにせず、指導係と話し合っ言葉に落とし込む。

### (3) 実習中の基本的な活動

- ① 子どもたちとの関わり、保育現場の実際の様子を肌で感じてもらう。
- ② 子どもへのアセスメントや発達支援について紹介する。実習期間中、子どもに関する「気づき」や「気になったこと」を記録作成や振り返りを通して、体験してもらう。
- ③ 保育施設で働く、多職種が連携して子どもの支援に関わる様子を知ってもらう。

## 3.実習開始にあたっての注意事項

### (1) 個人情報の取扱い

- ① 実習上に知り得た個人情報は実習期間中および実習期間終了後においても外部に漏らさないこと。  
➡施設外にて実習のことを話す際も要注意
- ② 子どもに関する記録等は写真およびコピーや施設の外へ持ち出すことは厳禁。  
➡個人的にメモをとる場合、個人が特定されないように記録すること。

### (2) 実習の心構え

- ① 職員や保護者・子どもへの挨拶をすること(保護者や子どもから「保育園・学童の先生」として見られる)
- ② 実習中は子どもたちと思いっきり遊ぶ
- ③ 丁寧な言葉使いや子どものお手本になるような振舞い
- ④ 髪が長い場合は束ねる、爪は短くするなど子どもひいては自身がケガをしないようにするため
- ⑤ 体調管理、睡眠時間の確保や水分補給は大事(急な体調不良でやむを得ない場合は欠席すること)
- ⑥ 携帯電話やPC、貴重品はカバン等にしまうこと

### (3) 実習中の動きについて

- ① 実習中、実習指導者の指示に従うこと。動きがわからない場合は確認すること
- ② 子どもへの対応で困った際はすぐに実習指導者など近くの職員に助けを求めること
- ③ 子どもが遊んでいる際、ケガがないよう安全には配慮すること
- ④ 実習中に子どものことで気づいたことや子どもが家庭のことを話した場合は一人で抱え込まず、実習指導者などに報告・相談すること

### (4) 緊急時の連絡先(実習施設への連絡について)

- ① 実習当日の場合は朝9時までに藤原(実習指導者)へ連絡すること
- ② 前日の夜間、発熱等の場合は藤原宛にメールで連絡し、翌日の朝、「①」と同じく連絡する

#### <緊急連絡先>

藤原 朝洋:(TEL)090-9480-5663  
(メール) tomohhu0@gmail.com

## 4.実習前の準備

### (1) 荷物

- ① 筆記用具
- ② 水筒(お茶や水)、熱中症対策としてスポーツドリンクや経口補水液を持って来ても良い
- ③ 持ち運びできる PC またはタブレット端末、持っていない場合はスマホで可能

### (2) 服装

- ① 動きやすい服装  
汚れても良い服(フード付きは不可)  
➡保育内容によっては水遊び等があるため、着替えを持ってくる方が望ましい。
- ② 運動靴(スニーカーでも可)
- ③ 上履き